

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日	
議長	副議長	局長	次長	長	副主幹	担当	文書取扱主任									

## 第 7 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成23年11月29日(火曜日)	開会 10時00分	閉会 13時53分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、山本、坂井、小野、三上、窪之内	事務局	中嶋事務局長
	議長、委員外～渡辺、清水、渡邊、木下、関藤、井上		原田主事
欠席委員	なし		
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 平成23年度一般会計補正予算について		
	(2) 平成23年産麦・米の出荷状況について		
	(3) 新滝川市活力再生プラン23年度第2四半期実績について		
	(4) 街なか共同住宅建設補助事業の拡充について		
	(5) 中小企業等震災緊急対策資金の融資結果について		
	(6) 街なか通行量調査の実施結果について		
	(7) 観光塾の開催状況について		
	(8) どうぶつらんど展示動物の譲渡状況について		
	(9) 東アジア観光客誘致のためのエージェントツアーの開催報告について		
	○ 産業活性化協議会について		
	(10) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について		
	(11) 平成23年度一般会計補正予算(災害復旧費)について		
	(12) 平成23年度建設部工事発注状況について		
	(13) 平成23年度除排雪計画について		
	(14) 平成23年度滝川市下水道事業会計補正予算について		
	(15) 石狩川流域圏会議の設立について		
	(16) 平成23年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算について		
(17) 平成23年度滝川市住宅改修支援補助制度の実績状況について			
2. 第4回定例会以降の調査事項について			
別紙調査項目のとおりとすることに決定した。			

議 事 の 概 要	3. その他について
	なし
	4. 次回委員会の日程について
	正副委員長に一任することに決定した。

上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山口清悦 印

平成23年11月28日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成23年11月17日付け滝議第128号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長	五十嵐 千夏雄
経済部参事	千 田 史 朗
経済部商工観光課長	長 瀬 文 敬
経済部商工観光課主査	青 木 康 男
経済部商工観光課産業観光振興室長	浦 川 学 央
経済部商工観光課産業観光振興室副主幹	諏 佐 孝
経済部商工観光課産業観光振興室主査	澤 田 忠 信
経済部商工観光課産業観光振興室主任主事	玉 城 健 雄
経済部商工観光課駅周辺整備室副主幹	加 地 幸 治
農政部長	若 山 重 樹
農政部次長	中 島 隆 宏
農政部参事	多 田 幸 秀
農政部農政課副主幹	阪 本 康 雅
農政部農政課副主幹	菊 田 健 二
農政部農政課主査	平 川 泰 之
農政部農政課主任主事	山 本 健 裕
建設部長	大 平 正 一
建設部技監	三 谷 文 彰
建設部土木課長	深 瀬 文 彦
建設部土木課副主幹	岸 祐 一
建設部土木課副主幹	尾 崎 敦
建設部土木課副主幹	千 葉 一 稔
建設部土木課都市計画室長	高 瀬 慎二郎
建設部土木課都市計画室副主幹	湯 浅 芳 和
建設部土木課都市計画室副主幹	山 崎 智 弘
建設部建築住宅課主幹	伊 藤 和 博
建設部建築住宅課副主幹	鎌 倉 幸 男

(総務部総務課総務グループ)

## 第7回 経済建設常任委員会

H23.11.29(火)10:00～  
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

### 1. 所管からの報告事項について

《農政部》

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| (1) 平成23年度一般会計補正予算について         | (資料) 農 政 課 |
| (2) 平成23年産麦・米の出荷状況について         | (資料) 〃     |
| (3) 新滝川市活力再生プラン23年度第2四半期実績について | (資料) 〃     |

《経済部》

- |   |                |
|---|----------------|
| (4) 街なか共同住宅建設補助事業の拡充について                | (資料) 商 工 観 光 課 |
| (5) 中小企業等震災緊急対策資金の融資結果について              | (資料) 〃         |
| (6) 街なか通行量調査の実施結果について                   | (資料) 〃         |
| (7) 観光塾の開催状況について                        | (資料) 産業観光振興室   |
| (8) どうぶつらんど展示動物の譲渡状況について                | (資料) 〃         |
| (9) 東アジア観光客誘致のためのエージェントツアーの開催報告<br>について | (資料) 〃         |
| (10) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について                 | (資料) 駅周辺整備室    |

《建設部》

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| (11) 平成23年度一般会計補正予算（災害復旧費）について    | (資料) 土 木 課     |
| (12) 平成23年度建設部工事発注状況について          | (資料) 〃         |
| (13) 平成23年度除排雪計画について              | (資料) 〃         |
| (14) 平成23年度滝川市下水道事業会計補正予算について     | (資料) 都 市 計 画 室 |
| (15) 石狩川流域圏会議の設立について              | (資料) 〃         |
| (16) 平成23年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算について  | (資料) 建 築 住 宅 課 |
| (17) 平成23年度滝川市住宅改修支援補助制度の実績状況について | (資料) 〃         |

### 2. 第4回定例会以降の調査事項について～別紙

### 3. その他について

### 4. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

## 第7回 経済建設常任委員会

H23. 11. 29(火) 10:00

第一委員会室

開 会 10:00

### 委員動静報告

委員 長 全員出席。議長出席。委員外～渡辺、清水、渡邊、木下、関藤、井上。建設新聞、北海道新聞、プレス空知及び一般市民の方の傍聴を許可する。本日は案件が多数あるため重複した質疑はしないように留意願う。

#### 1. 所管からの報告事項について

委員 長 (1) について説明願う。

##### (1) 平成23年度一般会計補正予算について

平川主査 (別紙資料に基づき説明する。)

阪本副主幹 (別紙資料に基づき補足説明する。)

委員 長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

窪之内 市長ほか随行者、農協の方もいると思うが全体では何名参加するのか。また、需用費の中身は何か。いつ出発し、いつ帰る予定になっているのか。販路拡大ということはお米なのか違う農産物も含めて考えているのか伺う。

平川主査 人数については市からは市長含めて4名を計上している。農協についても3名から4名の間で現在進めている。日程については13日の夕方に彰化県に表敬訪問をしたいと考えているので13日に出発し、16日月曜日に帰国する。需用費の内訳については滝川の柄を入れたうちわを作成したいのと、PRパンフレットやポスターも含めて考えている。

若山部長 14日は向こうの大統領選挙があり彰化県の知事も忙しいと思うが今のところ13日に伺い、せめて観光局の幹部の方にお会いしPRしたいと強く申し入れしている。16日に帰って来るのは物産展に参加する者であり、市長ないし市長の随行者は13日に入り、帰って来れば14日に、遅くとも15日には帰って来る。

阪本副主幹 販路拡大についてはお米10トンを超すスーパー裕毛屋に買っていただくことになり、それに合わせてお米のPRを中心に展開していきたい。そのほかにも菜の花ドレッシングや菜種油を持参しPRしたいと思っているし、観光局に行き観光PRもさせていだきたい。

窪之内 今後の方向として農産物の販路拡大と観光の両方を柱とするのか、どちらかに重きを置いてやるのか伺う。

若山部長 両筋立てていきたいと思っている。販路拡大については米だけではなく菜の花ドレッシングなども含めて考えている。ただ台湾では肉類の輸入が厳しい。滝川でラーメンも販売しているがスープに肉汁が入っているというだけでも無理という答えが返って来るので、そういうところも含めて何がいいのか考えてまずは農産物、加工品を十分にやっていきたい。観光においても経済部のほうで中国の方々を対象とした観光PRも行っていくと同時に、台湾のほうの掘り起こしもできればと思っている。

委員 長 他に質疑はあるか。

三 上 ① 旅費は4名分で73万9,000円なのか伺う。

② 観光PRも兼ねているので観光に関する職員は行くのか伺う。

阪本副主幹 ① 4名分の旅費を見ている。農協の分は入っていない。

- 委員 長 ② 観光セクションの人も行くということで調整している。  
他に質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。(2)について説明願う。
- 阪本副主幹 (2) 平成 23 年産麦・米の出荷状況について  
委員 長 (別紙資料に基づき説明する。)  
窪之内 説明が終わった。質疑はあるか。  
小麦に関してホクシンをやめ、きたほなみにしたということで昨年よりは結果はよかったということだが、どういう成果が生まれたと認識したらよいのか伺う。小麦も米も安定した収量だということだが、一定農家の安定した収入が得られるというふうに考えてよいのか伺う。
- 阪本副主幹 きたほなみはいろいろな試験を道のほうで行っておりある程度収量があり、病気にも強いということで取り入れた品種である。ただ、今回の数字は農協とも話させていただいたがもう少し取れてもいい品種ということだった。全体的に収量はあったが粒が小さかったということを知っているので来年に期待しているところである。収入については戸別所得対策の関係等が今年度から本格実施されているのでそれなりの収入があるということで見ている。ただ、全部を農協に出荷しているわけではなく、データを持っていない部分もあるが、地域にとっては少しセーフかという判断をしている。
- 委員 長 他に質疑はあるか。(なし) (2)については報告済みとする。(3)について説明願う。
- 若山部長 (3) 新滝川市活力再生プラン 23 年度第 2 四半期実績について  
多田参事 (別紙資料に基づき説明する。)  
委員 長 (別紙資料に基づき説明する。)  
窪之内 説明が終わった。質疑はあるか。
- 若山部長 ① 滝川アグリが借り受け予定者に選定された部分は一部分であると思うが、残りの部分の活用について新たなプロポーザルをやるなどの計画はないのか伺う。  
② 滝川グリーンズに関して経営改善計画書はどういう中身なのか伺う。  
③ 経営診断の委託の結果が出ていれば、どういうところが指摘されたのか伺う。
- 多田参事 ① 畜産試験場自体が現在滝川アグリと契約している面積が約 5 町であるが、あくまでもこれはステップ 1 の段階でありキャベツを来年から栽培し、出来高によっては順々にふやしていって最終的には 50 町くらいと考えている。まずは土改をやってどのような作物がよいのかとキャベツを手始めに、これいかんによっては縮小ということも考えているが、成功してやっていただきたいということで技術的支援も含めて普及センター等とも協力しながらやっている状況である。そのほかの地域においては滝川産ワイン製造事業などいろいろなことがあるが、企業情報の収集や訪問を行っている。ある程度のめどがついた段階で同じような方式のプロポーザルを道庁は取るのではないかと考えているが、まだそこまで地主と詰めていない。また、6 次産業化事業についても畜産系の大学とも個別に当たっており、道庁のほうでも個別に当たっているということなので計画を全うできたらという形で動いている。
- ② 当初の計画というのは 21 年度に策定し、タッグプランとも関連づけて策定し、議会にも報告した。

③ グリーنزみずからの努力による収益の改善、売り上げアップに向けてのイベント等の取り組み、年間券というものをつくっているがそういった料金の見直し、経費の削減については外部委託事業の削減ということも23年度からは取り組んでいるが、事業のさらなる拡大がどうか、レストランの改善など詳細にわたって診断をいただいた。それに基づいて取締役会としてもどういう形で実行していくのか今後決定をしていきたい。

窪之内

結果に基づいて経営改善計画を見直してこういうふうやっていくという時期はいつごろになるのか。23年度経営改善計画の策定は個別の対応に終わっていくのか伺う。

多田参事

診断を受けた結果23年度からできるものについてはやっている。例えば1階にある喫煙室を廃止しマッサージルームに変えるなどお客様の動静に基づいて利用しやすい施設はどのようなものかということについて検討しながらできることについてはやってきている。ただ経営診断の中身については10カ年計画の見直しに寄与する部分が大いと思っており、12月8日に取締役会を開催し具体的に実施について検討していく予定である。

委員長

他に質疑はあるか。井上委員外議員、質疑の内容を伺う。

井上委員外議員

畜産試験場跡地の進行状況についてももう少し詳しく説明してほしい。

委員長

井上議員から発言をしたいとの申し出があった。お諮りする。井上議員の発言を許可することに賛成の方は挙手願う。賛成少数である。よって井上議員の発言を認めないことに決定した。他に委員外議員から質疑はあるか。(なし)(3)については報告済みとする。所管入れかえのため若干休憩する。

休憩 10:30

再開 10:36

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。(4)について説明願う。

#### (4) 街なか共同住宅建設補助事業の拡充について

長瀬課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

窪之内

① 重点地区内というのを除いて中心市街地活性化基本計画区域内に同じような補助をするというのは実施が12月1日なので、この区域内に制度ができてから既に共同住宅を建てたところにさかのぼって適用されることはないのか伺う。  
② 改正されたことによって民間がこういう区域に建てようとしている情報があれば伺う。これだけでは2,800人の達成は無理だと思うが、どういうふうやっていくのか何か方策があれば伺う。

長瀬課長

① さかのぼる考えはない。

② 平成22年度民間投資による集合住宅は区域に4棟建っている。この4棟についてはすべて市外業者ということで対象外である。情報についてはあるが、23年度は2件ほどの相談があったが、解体費については話していないので従来の政策の中での説明をしている。中活の報告のときにも話させていただいたが6戸以上の実績については現在2,825人と報告している。この資料にある2,573人というのは住民基本台帳の人口であり、実際居住している方については職員で夜間調査をしているところであるが、市民課と連動しながら住民登録していただくように働きかけていきたいと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(4)については報告済みとする。(5)について説明願う。

青木主査 委員長	<p><b>(5) 中小企業等震災緊急対策資金の融資結果について</b> (別紙資料に基づき説明する。) 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (5)については報告済みとする。(6)について説明願う。</p>
長瀬課長 委員長	<p><b>(6) 街なか通行量調査の実施結果について</b> (別紙資料に基づき説明する。) 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (6)については報告済みとする。(7)について説明願う。</p>
浦川室長 委員長 窪之内 浦川室長	<p><b>(7) 観光塾の開催状況について</b> (別紙資料に基づき説明する。) 説明が終わった。質疑はあるか。 参加した42人はどのような業種か伺う。 登録に当たって職業を持っている方には職種や連絡先を確認させていただいている。つうフレンドというボランティア団体の方が9名、ホテル、旅館業の方が7名、市内飲食店、食料品販売業、JR滝川駅の観光を扱っているところや市内のタクシー関係、退職されて滝川の観光を支えたいという一般の方が二、三名である。</p>
委員長	<p>他に質疑はあるか。(なし) (7)については報告済みとする。(8)について説明願う。</p>
浦川室長 委員長	<p><b>(8) どうぶつらんど展示動物の譲渡状況について</b> (別紙資料に基づき説明する。) 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (8)については報告済みとする。(9)について説明願う。</p>
五十嵐部長 委員長 坂井 五十嵐部長	<p><b>(9) 東アジア観光客誘致のためのエージェントツアーの開催報告について</b> (別紙資料に基づき説明する。) 説明が終わった。質疑はあるか。 ほかの市町村との連携について今後の対応を具体的に伺う。 今回は市内の施設を見ていただいたエージェント向けのツアーであったが、来年に向けてどういったモデルツアーを企画していくかということに尽きると思う。滝川に泊まって観光していただく中で滝川市内でツアーの中に十分盛り込めないという状況になったら、ここから1時間圏内である北の旭川、富良野、美瑛、西の増毛、留萌を含めてモデルツアーを検討していきたいと考えている。</p>
委員長 窪之内	<p>他に質疑はあるか。 来年度の菜の花のモデルツアーは今回と同じ主催と後援でやるということなのか、どこかの旅行会社に対して委託をしてやろうとしているのか伺う。</p>
五十嵐部長 委員長 関藤委員外議員	<p>今のところは今回参加していただいた4社の旅行会社に企画をお願いしている。 他に質疑はあるか。関藤委員外議員、質疑の内容を伺う。 旭川と富良野との今後の関係についてと参加者からいただいた意見についての質疑である。</p>
委員長	<p>関藤議員から発言をしたいとの申し出があった。お諮りする。関藤議員の発言を許可することに賛成の方は挙手願う。賛成多数である。よって関藤議員の発言を認めることに決定した。この際、委員外議員の発言については前回同様2分以内に制限したいと思うが、これに異議はあるか。(なし) 異議なしと認め決定した。関藤議員、2分以内に発言願う。</p>

- 関藤委員外議員 ① 滝川の観光誘致ということで旭川、富良野方面との連携については私も2年ほど前から滝川を訪れた方からいただいた意見を所管に随時申し上げている。今後、旭川と富良野との関係を具体的にどのように進めていくのか伺う。
- ② 4社6名の参加の中でいろいろな意見があったと思うが具体的にどのような意見が出てきたのか伺う。
- 五十嵐部長 ① 今回初めてエージェントの方に来ていただき滝川の魅力を見ていただいたということでこれから企画が始まる。まずは滝川の魅力、体験というものを中心に企画をお願いしている。近隣の魅力ある観光施設の富良野、美瑛、旭川とも連携を取ったら魅力的なツアーになるのではないのかという意見もあったので、今後は今回参加していただいた4社を中心に旅行会社と協議を進めながらツアーを企画していきたいと考えている。その中で必要になれば連携、働きかけをしていきたい。
- ② グライダーについては中国、台湾、香港ではこういう体験はできないので大変魅力的な観光施設であるという話があった。ただ、1回目に北海道を訪れた方がグライダーを体験するかというとそれは違うのではないかという話もあったので、2回目、3回目に北海道を訪れた方々には非常によい施設ではないかという意見をいただいた。ゴルフ場もレッスンが受けられるのであれば、今中国でもゴルフが普及しつつある状況のようなので今後有望な観光施設になるのではないかという意見もいただいた。食についても食材やシェフの腕がよいものもあるが、これもいい評価をいただいた。率直に滝川でこのような食材、料理が提供されると思っていなかったという言葉もいただいた。体験施設を案内したが滝川に体験できる施設がこれだけあるということも驚きだったようである。午後3時ころママズキッチンに連れていったが、農業体験もできるとい話をしたら随分興味を示していた。
- 委員長 他に質疑はあるか。(なし)(9)については報告済みとする。ここで産業観光振興室より追加の口頭報告事項がある。
- 浦川室長 ○ 産業活性化協議会について  
産業活性化協議会の関係であるが、現在産業支援制度のあり方を見直ししている最中である。この会議があしたあり、制度改正の内容が決まれば産業支援の募集を12月にかけて行っていく作業になるが、日程の都合上きょう説明することができない。あしたの会議終了後関係する資料については委員の皆さんに机上配付をさせていただきたい。
- 委員長 この件については報告済みとする。(10)について説明願う。
- 加地副主幹 (10) 滝川駅前再開発ビルの状況報告について  
(別紙資料に基づき説明する。)
- 委員長 説明が終わった。あらかじめ委員並びに委員外議員に確認するが、質疑のある方は挙手願う。これより質疑を受けるが前回、前々回の委員会で解明された部分並びに重複する質疑は控えていただきたい。また、提言書については外部団体が作成したものであるので詳細内容についての質疑は所管に対してそぐわないと思うので理解願う。質疑はあるか。
- 坂 井 提言書の中に3年間をアプローチ期間として解体や何かを考えていくとあるが、これを踏まえた上で現在あるテナントと今後入ってくるかもしれないテナントに対する考え方を伺う。特に現在あるテナントに関して3年間で仮に解体されるということであれば現在契約解除ということが駅前再開発ビルから示さ

れていると思うが、その段階でテナントが拒否する可能性というのはあるのか。この提言書に出された3年間というのはみそになってくると思うので、その辺について市の今後の考え方を伺う。

加地副主幹

ビルとテナントで話し合いがつかないということであれば私どもの条件にはすぐわないということになるので理解いただきたい。新たなテナントは実証実験ということで考えている。その中には大きなビルを動かすことができるかどうか、財源として賄い切れるかどうかという議論もある。それから言ったときに全体を使うことになるのか一部分だけを使うという形の実証実験になるのかということ踏まえた中で総合的に判断していった上で行わなければならない。仮に新テナントを一部入れてやるということになれば当然私どもの広域交流拠点を形成するという意味において足かせになるような契約はできない。それならば家賃、共益費、管理費といった部分の金額のはね返りもあるだろうし、ビル全体の運営の部分、契約の中身についても借地借家法の絡まない契約のあり方も追及しなくてはならないので、そういう部分で乗ってくれるテナントがあるかどうかという議論になるかもしれない。そういった点も踏まえながら3年間の使い方という部分についてはもっと時間をかけて考えていかなければならないと認識している。

坂 井

現在あるテナントが市の考えに賛同できない場合、駅前再開発ビルではなく商店街の空き店舗に出たいと話が仮にあった場合には、市として補助や何かをする考えがあるかどうか。ぜひやっていただきたいという私の要望も含めて伺う。

千田参事

1店1店支援することはできないと思っている。中心市街地活性化協議会や市商連から要請が出てきたら検討はするが、行政が財源を使ってやっていけるといものではないので今のところは考えていない。

委員 長  
窪之内

他に質疑はあるか。

① 条件5つをクリアしなければ土俵にも上がらないと言っているのに活性化ビジョン素案P6の(2)暫定的管理の場合、現テナントの賃貸借契約の継承がある場合とあるが、ある場合に無償譲渡は受けないというのが前提であるはずなのになぜこういう文章が載っているのか伺う。

② まだ土俵にも上がっていないスマイルビルの活用を含めたステップ1からステップ3を含めた活性化ビジョン計画であるが、3・3地区についても何も明確なものがないという中で滝川市の中心市街地活性化ビジョンを作成してもよいのか伺う。また、財政的な観点が全く入っていない。交流拠点を行政が主導で進めていこうとしているときに何億円をつぎ込もうとしているのかということがビジョンの中にも提言の中にも出てきていない。こういう中で市民が判断できるのかというのが疑問である。費用対効果がどうかということ判断するためには一定の再生規模などが示されないと判断できないし、市民にも説明がつかない。説明するためにも何らかの財政的な見通しが必要ではないかと思う。計画の中には補助金を使えるかということは今後検討するとなっているが、その規模がどのくらいかということが明らかにされていないので、そうしたものも含めて計画の中で一定程度示すべきではないかと思うが考えを伺う。

③ 提言書についてだが、ビジョンに沿った提言をする以上、市の活性化ビジョンに沿ったものになるというのはやむを得ないとは思いますが、検討会議のメン

加地副主幹

バーが主体的にやったのかどうか疑問である。検討会議は6回しか開催されていないが、6回の中でこれだけの文章や図面をまとめることができたのか。経済部主導でやってきたのではないのか伺う。それと細かな内容については検討会議がつくったことなので経済部がどうこうということではないと思うが、提言書P6、下から7行目に、「また、滝川市民は、西友が撤退した理由（利用者減など）を真摯に受け止め、積極的に中心市街地を活用する意識を持つことが持続可能な拠点形成につながるものと考え。」とある。このようなことを市民に言って、市民は納得するのか。市民の責任にするような文章を含めた提言書が出ることを危惧する。ここの部分を訂正させることはできないのか伺う。

① ビジョンを検討する中で選択肢としてこういう部分を考えてきているというものを載せている。こういうところを踏まえながら最終的に前回提示させていただいた条件が適切で、完全なものが必要であるということを導き出したという形で掲載させていただいた。

② 次に何をやるのかということが明確になってきたときにそれぞれ何億円、何十億円かかるというシミュレーションなどが出てくる可能性が高い。しかし今私どもの中身としてはあの施設をもらった際には何にしていこうという部分については皆さんと議論をしながら決めていこうということなので安易に何かを想定する中で何十億円という記載はできないという状況である。修繕ということについてはビジョンの本編の中には表で掲載させていただいている。ビルだけではなく学校や施設などの問題もあるので総合的な見方をしなくてはならないという認識をしている中ではあるが、このビジョンでは中心市街の活性化、滝川市の玄関口としてどういったものが必要なのか、地区としての必要性があるのかないのかという部分を訴えていきたいということで掲載させていただいた。

③ 検討会議のメンバーは7月から参画いただき議論を6回ほどしていただいている。それ以前に業務委託という形で4月末から活性化ビジョン策定業務を並行して行っている。ビジョンの重点施策編とビジョン編をつくる上で意見もいただいていた。検討会議のほうに私どもとして原案をもってこういう方向性でいかにかということを開議を開催する中で行ってきた。それについて検討会議として滝川市が進む方向を明確に提示したいという意思統一の中で、今回提言編が出されたという状況である。一字一句委員の方が打ち込んでつくったかと言われればそうではない部分もあるが、5回、6回の会議の中で提言の土台、構成を確認し最終確認をいただいた上での提言の提出に至ったと認識している。提言書の文章を訂正させることはできないかという部分だが、提言書は一度受付を押ししているの、あくまでも検討会議としての位置づけであるので、私どもとしては訂正を申し入れる立場にはないと認識している。

窪之内

① 既に前回の経済建設常任委員会で5つの条件をクリアしないと無償譲渡は受けないということを明言している以上、ここの部分を載せることによって誤解される危険があるので、ここの部分をビジョンの中から外すなど何らかの措置をとる必要があると思うがいかがか。

② 言っている意味はわかるが本当にそれで市民は判断できるのか。また、ここには無償譲渡を受けない場合の活性化ビジョンがない。無償譲渡を受けない場合は廃墟化し、廃墟化した後のその地域をどうするのかというビジョンが全く出されていない。そのようなビジョンを出さないと二者択一ではない。こ

れを読んだ市民は無償譲渡を受けて、その後のことばかり書いているとしか受けとめられないと思う。廃墟化した場合にどうするのかということと同時に提起してもらわないと選択できない。廃墟化し解体に8億円かかっても、3・3地区を活性化させたり、市役所周辺を活性化させる中で中心市街地を活性化させていくという道はないというふうに思っているのか、その辺も含めて考えるべきではなかったかと思うがいかがか。

千田参事

① 今回つくらせていただいたのは概要版なので修正させていただくことは可能であると思う。本編についても素案の状況なのでなじまないということになれば変更することは可能である。これについては検討させていただきたい。

② 所有権が1本化になっていなかったり、債権が残るといった状況の中で廃墟化した場合には滝川市は手をつけることはできない。滝川市が管理をしなければならぬという部分はあると思うが、今それに対して幾らかかるかというのは試算しづらいので入れていない。8億円出せば壊せるというものではない。出す前に権利者の関係を整理しなくてはならないという部分もあるので、なかなか書きにくい。一步踏み込むと、今の状況では破綻状況にあるということなので、そこを何年間生きていけるのかというのは会社としての方針もあると思うが、例えば3階を滝川市で借りるということで生き残っていくということも考えられないこともないが、補助金をどんどん入れていってビルを回していくということがいいかどうかというのは私どもは想定はしていないが、そういうことも本来ならばビジョンに入れられるが、市民に受け入れられるかという部分もあると思う。説明不足という部分についてはもう少し説明できるようにしていきたい。状況としては滝川市が意思を持ったとしても壊せる建物ではない。スマイルビルは公共の建物ではない。そのスマイルビルをどうしていくかというときにそういう経営状況に陥り廃墟化にならざるを得ない状況をつくった経営陣の責任について全く触れられていない。民間がやってきたことに公的なお金をつぎ込みかねないような状況である。一部滝川市の権利部分もあるが、今の管理会社がどう責任を取ってビルをどうするのかということを確認しないと、市民の無償譲渡に対する理解は得られない可能性があると思うが、その辺の責任についてどのように市民に明らかにさせていこうと考えているのか伺う。

窪之内

加地副主幹

条件④に所有会社と管理会社の速やかな清算と記載させていただいている。こういった部分で法人としての責任を取っていただきたいという位置づけである。代表取締役という形もあるかと思うが、会社として経営という中での責任の度合いやあり方というところは行政という立場で会社の一法人について介入するものではないと認識している。

千田参事

質疑の中で民間ビルということを言われていたが、滝川市が区分所有している部分がある。その部分で例えば廃墟化になったときにどういう責任を滝川市が負うかというところと多くの弁護士等々に相談した中では、滝川市が区分所有している責任をだれが取れるかというところに責任が来る可能性が高いということである。全くの民間ビルということではない。恐らく読売新聞だったと思うが、9月に釧路の駅前の民間ビルの壁が落ちてきて、行政が代執行という形で責任を負った。市民の安全を守ることも行政の仕事だと思う。その部分については全くの民間ビルとは違うと認識していただきたい。

窪之内

市が振興公社から買ったのは駅前再開発ビルのことを考えてのことだったと思

うが、市が区分所有しているから責任があり、駅前再開発ビル側に責任がないということではない。区分所有している市が代執行する可能性があるのはわかるが、大きな経営責任を持っていたところの責任がこの条件だけで明確になるとは思わない。5つの条件をクリアすることが駅前再開発ビルとしての責任の取り方と認識しているということか伺う。

千田参事 会社がこういう状況だから持てなくなったという責任を明確に説明してほしいということか伺う。

窪之内 無償譲渡をしないと経営が行き詰まる状況に至った経営責任が明確にされていないと思う。議会として決算書を要求しているということもあるが、経営責任のことを聞いたとき、条件を整備して会社を清算することが経営責任の取り方というふうに答弁していたので、そのようにとらえているのか伺う。

千田参事 ほうり投げてしまうというよりは、会社を清算することも一つの最終的な経営責任だと考えている。

委員長 他に質疑はあるか。清水委員外議員、質疑の内容を伺う。

清水委員外議員 活性化ビジョン素案 P21、22 と概要版 P6、見積もりの信頼性や今後の試算の根拠、マスターリースとは何か、管理委託について試算は出していないのかという質疑である。

委員長 今清水議員から発言をしたいとの申し出があった。お諮りする。清水議員の発言を許可することに賛成の方は挙手願う。賛成多数である。よって清水議員の発言を認めることに決定した。この際、清水議員の発言時間について2分以内に制限したいと思うが、これに異議はあるか。(なし)異議なしと認め決定した。清水議員、2分以内で発言願う。

清水委員外議員 ① P21、22、見積もりは3社くらい取らないと信頼性が薄いと思うがいかがか。  
② P21、内部改装の1億4,780万円、照明設備改修3,490万円、P22、自動火災報知設備改修の9,785万円、空調機器改修の5,010万円、P23、内装工事4,250万円とあるが、本当に必要な根拠を伺う。

③ P24、参考資料で試算表があるが根拠を伺う。

④ P21、22、改修項目について市の体育センター、文化センター等でも普通に行われている中身なのか。また、P22、解体関係の5億円、3億円というのは非常に大ざっぱであるので、精査した数字を出す考えはないのか伺う。

⑤ 概要版 P6、マスターリースとは何か。管理委託の場合の試算は出していないのか。出していない理由についても伺う。

⑥ 商業者に市の普通財産を賃貸するということの法的根拠は満足しているのか伺う。

加地副主幹 ① 詳細見積もりはしていない。市の場合では2社や3社で見積もりを取った上でそれぞれ発注の準備という流れになるが、これについては岩見沢市に類似物件のポルタビルがあり参考にさせていただいている。项目的な部分ではスマイルビルの管理会社から委託を受けている北関メンテナンスという会社の担当者の方からコンサルのほうで聞き取りを行いビルの現状を把握させていただいている。それに基づいて駅前ビル管理会社として見積もりを取っている内容、北関メンテナンスの担当者から聞き取りをした内容においてポルタビルの中で出てきている概算額を表に記載している。

② 建設後おおむね20年くらいに大規模なリニューアルをしていくという部分での慣例的な考え方に基づいた試算という位置づけである。消防法から違反

してということではなく、ビル側として消防法の点検を受けているのでその中での対応である。20年間経過しているので今後10年、20年使うという場合にそれ相当の初期投資をかけていくという概略の中身である。

③ 参考という形で提示させていただいている。年間で7,700万円くらいでとんとんになるのではないかと試算をあらかじめ入れている。これについては注釈があるが、3階の空きスペースは2階のダイソーと同等のレベルで3階も埋まり、テナントの方が今と同じような状態が入っていて回した場合の想定である。現在岩見沢市のポルタビル等ではテナントが入る、入らないという報道もあるが、そういった観点でいった場合にどのような状況になるのかという部分を参考としてシミュレーションをしたものと認識していただきたい。

④ 市の施設ということで文化センターなど指定管理という形で出しているのはある。リニューアルをし継続的に使っていくといった場合の想定ということで入れているので、かからない部分もこの中には含まれていると認識していただいても構わない。正式に見積もりを取る予定はあるのかということについては、市も一部持っているが滝川市として何かできる状況にはない。どうかしなければならないということになれば正確に物件を調査するための経費を持ち、見積もりを仕上げなければ解決しないと認識している。市として受けていくべきであろうとなった際には明確にしていくための調査設計が必要となると思っている。

⑤ マスターリースとは一棟貸しのイメージである。滝川市としてビルの所有者にはなるがビルを管理運営する会社等に貸すというイメージを一般的にマスターリース方式と言っている。岩見沢のポルタビルは岩見沢市が所有し、振興いわみざわという三セクの会社にマスターリースをしている。振興いわみざわがテナントと契約をする中でビルの管理運営を行うということである。まだ具体的な管理委託の試算はしていない。どれだけどういうふうにするのかというイメージもまだ定まっていないので、その中でビル全体という形になれば今と同じような経費がかかり、一部分しか使わないということであればもっと圧縮することも可能であるので、まだその部分が明確になっていない中では試算はしていない。

⑥ 行政財産、普通財産という位置づけが財産的な部分で出てくる。ビルの中でたきかわホールについては設置条例があり行政財産という位置づけである。そのほかの部分については滝川市として行政目的を持った建物ではないということからいけば普通財産という位置づけになり、普通財産の貸付という対応というのが出てくるということになれば、地方自治法の定めの中での位置づけと、地方自治法からくる滝川市財務規則での中身という対応になる。

清水委員外議員

市が詳細見積もりをするのは市が受けていくと判断した場合だということだが、その時期というのは具体的にはどういふときか伺う。

千田参事

今の状況では詳細設計等については予算化もできないと考えている。正式に滝川市がいただけるという状況の中で予算化して議会にお諮りしたいと考えている。

委員長

他に委員外議員から質疑はあるか。(なし) (10) については報告済みとする。ここで休憩する。再開は13時30分とする。

休憩 12:19

再開 13:29

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。(11)について説明願う。

深瀬課長 (11) 平成 23 年度一般会計補正予算(災害復旧費)について  
(別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

窪之内 深沢川は今までも何度か災害復旧ということでやっていたが、何年前にも同じような場所の災害があったかと思う。そことは違う場所ではあると思うが、この辺一体はきちんとしなければならない川と認識してよいか伺う。

深瀬課長 今回は右岸だったが、左岸は過去3度ほど災害している。委員の言われるとおり根本的な河川改良が必要であると考えているが、事業費が莫大なものになるので市で対応するのは難しいため、道にお願いできないかと要望しているところである。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) (11)については報告済みとする。(12)について説明願う。

(12) 平成 23 年度建設部工事発注状況について  
(別紙資料に基づき説明する。)

深瀬課長 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (12)については報告済みとする。(13)について説明願う。

委員長 (13) 平成 23 年度除排雪計画について  
(別紙資料に基づき説明する。)

千葉副主幹 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (13)については報告済みとする。(14)について説明願う。

委員長 (14) 平成 23 年度滝川市下水道事業会計補正予算について  
(別紙資料に基づき説明する。)

高瀬室長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし) (14)については報告済みとする。(15)について説明願う。

委員長 (15) 石狩川流域圏会議の設立について  
(別紙資料に基づき説明する。)

高瀬室長 説明が終わった。質疑はあるか。

委員長 ① 具体的な取り組みは今後ということであるが、発起人である市長が具体的に持っているものがあれば伺う。

窪之内 ② 設立に当たって、予算や各市町村に負担金を求めるなど運営に関する費用はどのようなになっているのか伺う。

高瀬室長 ① 市長は具体的にこれということでは提案していない。今回案内の中でアンケートをとり 46 団体の意向調査を前提に考えていきたい。その結果を会議の中で報告させていただき、1 番多かった防災関係と 2 番目には河川の環境問題があったが本数がふえれば浅くなるということもあるので今の段階では防災を一本化した中で来年度に向けてワーキンググループ等をつくって進めていきたいという考えはある。

② 年間各団体 1 万円と規則の中でうたっている。そのほかに必要ないろんな関係する財団等があれば趣旨説明をし、お願いするということが今後の行動として必要と考えている。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) 私から質疑させていただく。委員長交代のため休憩する。

休憩 13:44

再開 13:44

- 副委員長  
委員長  
大平部長
- 休憩前に引き続き会議を再開する。委員長。  
① 前田市長が発起人になった理由を伺う。  
② 石狩川財団からこのような示唆があつて設立をしたのか伺う。
- ① 市長は石狩川治水促進期成会の会長である。この会は滝川市だけでも50年続いている会長職であり、国といろいろな話をする機会がある。かねて流域の中でこれに近いような取り組みもあつたが、今はなくなった。石狩川流域として連携、連動していくべきではないかということが数年前から出ていた。その中で石狩川治水促進期成会が23団体という約半分の自治体をまとめている会なので、その縁で発起人の代表ということで覚書きをした。恵庭市の原田市長については千歳川流域の期成会長である。9市町の取りまとめをしている会の市長であるのでそこと連携をしながら流域全体の会議の立ち上げをさせていただいた。
- ② 立ち上げの中では財団との絡みはない。ただ、いろいろな事業捻出の部分で補助を出していただけることもあるので、提案をしながら財源を提供していただくという取り組みについては関連している。
- 副委員長  
委員長交代のため休憩する。
- 休憩 13:46  
再開 13:46
- 委員長  
休憩前に引き続き会議を再開する。(15)については報告済みとする。(16)について説明願う。
- (16) 平成23年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算について**  
(別紙資料に基づき説明する。)
- 鎌倉副主幹  
委員長  
窪之内
- 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。  
同時期に建てられているところが何棟かあるがその給水ポンプの劣化は大丈夫なのか伺う。
- 三谷技監  
毎年定期点検をしながら悪いところを見つけてやっている。今回のはずっと悪く小修繕しながら続けてきたが、どうにもならなくなり取りかえることになった次第である。
- 委員長  
他に質疑はあるか。(なし) (16)については報告済みとする。(17)について説明願う。
- (17) 平成23年度滝川市住宅改修支援補助制度の実績状況について**  
(別紙資料に基づき説明する。)
- 伊藤主幹  
委員長  
説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (17)については報告済みとする。
- 委員長  
**2. 第4回定例会以降の調査事項について**  
別紙の内容のとおりでよいか。(よし) そのように決定する。
- 委員長  
**3. その他について**  
委員から何かあるか。(なし) 事務局から何かあるか。(なし)
- 委員長  
**4. 次回委員会の日程について**  
正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし) 以上をもって第7回経済建設常任委員会を閉会する。

閉会 13:53